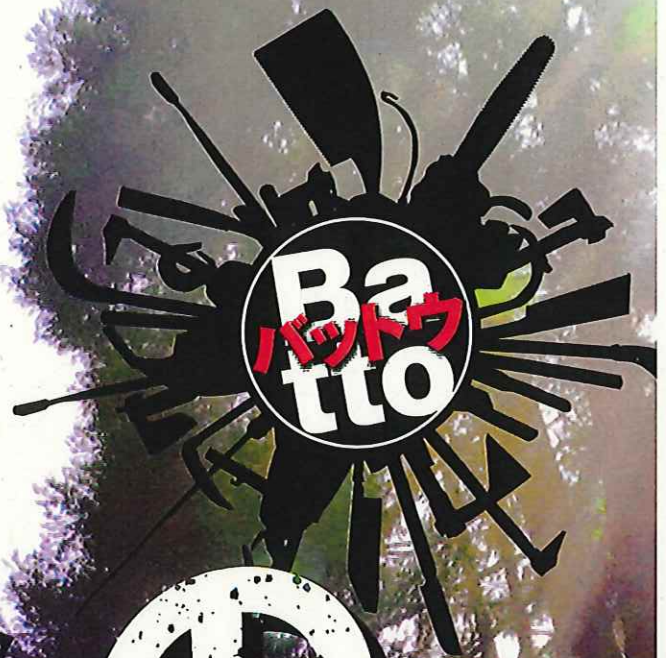


# 山が われらの フィールド

WORK FORESTRY





## 新たな就業者の定着推進のための 情報交換と交流の場を開催

公益財団法人熊本県林業従事者育成基金では、就業1年目の新規就業者を対象に定着推進事業を開催しています。  
令和元年12月16日に実施されたセミナーと意見交換会の模様と講演要旨を紹介いたします。

### 令和元年度 林業新規就業者定着推進事業研修会

■開催日：令和元年12月16日(月)10:00~16:00

■開催場所：熊本県林業研究・研修センター第2研修室

#### スケジュール

10:00午前の部・開会

●主催者挨拶

(公財)熊本県林業従事者育成基金

常務理事／江上 憲二

●来賓挨拶

熊本県農林水産部森林局林業振興課

課長補佐／野間 圭

10:10セミナー

テーマ「職場でのコミュニケーションとチームワーク」

講師／林田 美恵子氏 (コミュニケーショントレーニングセンター代表)

12:00(昼食)

13:00午後の部・開会

13:10意見交換会等

テーマ「新規就業者の定着に向けて」

講師：菅原 孝二氏

(南ビジネス・アシスト代表取締役)

14:10(休憩)

14:20班別意見交換

15:10各班代表意見発表

15:30参加者全員による意見交換

15:50総括(意見交換のとりまとめ)

16:00閉会



主催者を代表して、熊本県林業従事者育成基金の  
江上憲二常務理事が挨拶



当日は16名の新規就業者が出席

# 「魅力に包まれる山の仕事」 林業新規就業者の“生の声”を届けます

熊本県では、毎年 40 ～ 80 名が新規に林業に就業しています。

林業従事者育成基金発行の小冊子『Batto(バットウ)』では、新規就業者の中から「緑の雇用研修生」(フォレストワーカー[林業作業士]) 1 年目の皆さんに取材。

彼らが感じた林業の魅力やきっかけ、今後の目標などを紹介します。

林業従事者、特に若手就業者の中には、小規模な職場で高齢化も進み同僚なども少なく、仕事の悩みや不安を相談する相手の中々いないという方もいることでしょう。

本誌を通じて、そうした思いが共有され、各事業体の“生の声”を紹介することで、

同じ林業で働く仲間の連帯感がさらに強まるきっかけになればと期待します。

皆さんがより前向きに仕事に取組み、さらなる一歩が踏み出せることを願っています。

## セミナー

### 「職場でのコミュニケーションとチームワーク」

講師: 林田 美恵子氏(コミュニケーショントレーニングセンター代表)

### コミュニケーションを深めて 楽しい職場環境と生産性の向上を

職場環境が楽しいのは取りも直さず人間関係が楽しく、コミュニケーションがよくできていること。それが生産性の向上にもつながると林田先生。一方で職場のコミュニケーションにはマナーが必要で、お互いに気持ち良い時間と空間を過ごすための礼儀作法が必要と話します。中でも一番大事な笑顔の挨拶を取り上げ、笑顔にも種類がありそれを意識することで、気持ちの共有や仕事への集中にも繋がることも。

セミナーでは楽しい職場環境を作るために、会話力や傾聴力、チームワーク、話し方のトレーニングが和やかな雰囲気のもと実施されました。



楽しい職場環境のためのノウハウを実践する  
林田先生

## 意見交換会

### 「新規就労者の定着に向けて」

講師: 菅原 孝二氏((有)ビジネスアシスト 代表取締役)

### コミュニケーション力を高め 良好な職場環境を築こう

講義の始めに職場に対する満足度や離職の理由などをデータで示した菅原先生。先生が着目したのは、企業が中途採用の選考などの際に重要視するポイントで上位の「コミュニケーション力」です。「知識技術ではなく勤務姿勢や良好な人間関係が大事」と話し、コミュニケーションの阻害要因を多角的に説明しました。また、コミュニケーション力を高めるには、「ありのままの自分をすることが重要」と説明。チェックシートなどで自己診断を体験。後半にはそれぞれの夢について意見交換を重ね、林業の現状や将来まで様々な意見交換がされました。



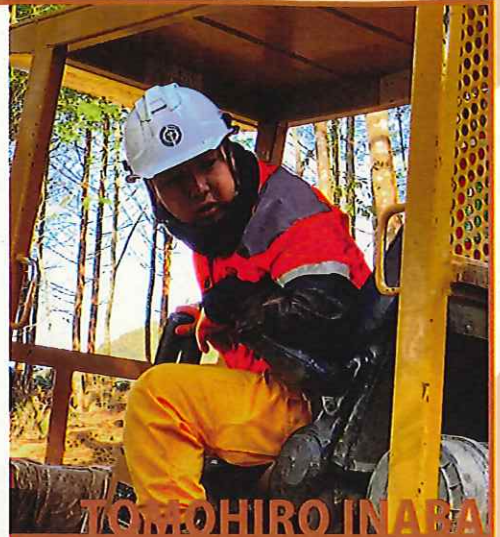
コミュニケーション能力の重要性を話す  
菅原先生



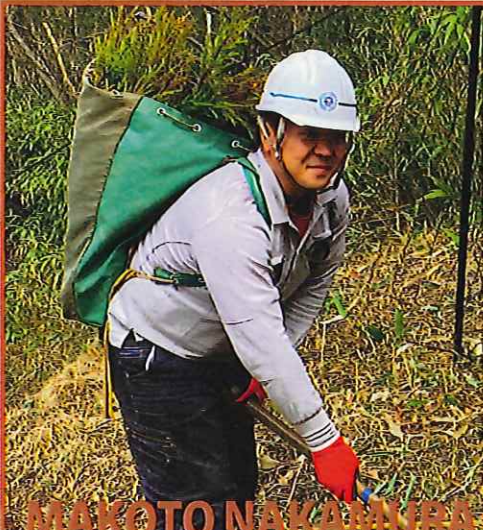
## 自然が好きで林業コースに進学し 実際に触れ合う仕事をしています

南陵高校林業コース卒業後、上球磨森林組合へ。学校ではソーチェーンの取り扱いや機械の名称などは習ってきましたが、実際に山の仕事に就くと全く違うことばかりで戸惑うことも多い一年でした。また、学生時代や育成基金を通じての研修とも山で働く環境は全く違いました。山の中はアップダウンも多いですし、雨天時の作業もあります。想像していたものとはかけ離れていましたね。

それでも、もともと自然が好きで林業コースに進学し、実際に触れ合う仕事をしています。多くの経験を積み、もっと幅広い分野で仕事が出来ようになりたいと思います。今は先輩指導員に付いてもらっていますが、山の仕事は常に危険と隣り合わせの仕事だとも思います。先輩とのコミュニケーションを図りながら常に安全確認をすることも大切だと感じています。自らが積極的に話す、聴く、そういった力も身に付けることも林業に必要だと思います。



**TOMOHIRO INABA**  
上球磨森林組合  
稲葉 友博さん(19)



**MAKOTO NAKAMURA**  
五木村森林組合  
中村 誠さん(33)

## 先輩方の動きを良く見ながら 自分が楽になることも早く見つける

以前は土木作業員をしていましたが、父親の怪我がきっかけで地元森林組合で働くこととなりました。

土木作業でやっていた伐倒と、林業での伐倒が全く違いました。林業では自身が使うクサビ一つで倒す方向が変わり、どうかすると自分の方に倒れてしまうかもしれない恐ろしさを感じたことです。思った方向に倒れると「よし！」と思うこともあれば、安全確認をしっかりとやっても、特に傾斜のきついエリアでは待避場所に行けるのかと思ったりもします。

林業では季節によって作業することも違いますし、今後はどういった現場に行っても任せられると先輩方に思われたいと思っています。

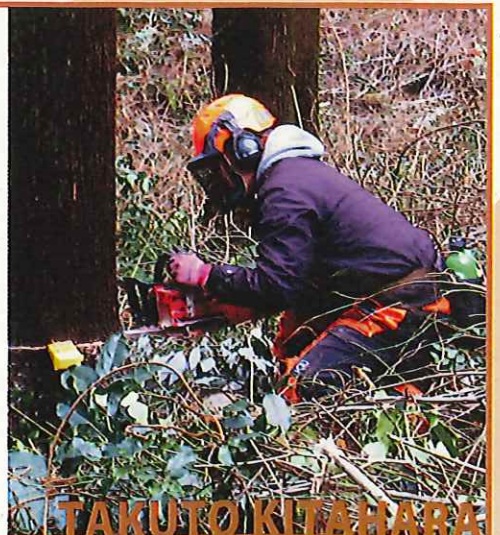
こういった仕事でも就いてすぐはきついのは当たり前です。きつさの中でも効率よく動くことを見つけてくることが出来れば「楽」に思えることも感じます。先輩方の動きを良く見ながら自分が楽になることも早く見つけていきたいですね。

## 体力もつくしメンタルも強くなる 心も体も鍛えられる仕事

祖父の所有している山の手入れを手伝ったことをきっかけに、その山を自分が譲り受ける話があり、この機会に森林組合に入って林業のことを学ぼうと思い始めました。

最初は今まで経験したことのない仕事だったので環境に慣れるのが大変でしたが、家を建てたりするには必要な仕事ですし、今ではとてもやりがいを感じています。

体力を活かせる環境ですが、まだまだ若者が少ないので、もっと若者が増えてほしいと思います。体力もつくしメンタルも強くなる仕事なので心も体も鍛えられる仕事です。今後は森林組合で学んだことを活かして、祖父の山を整備できるようになりたいですね。



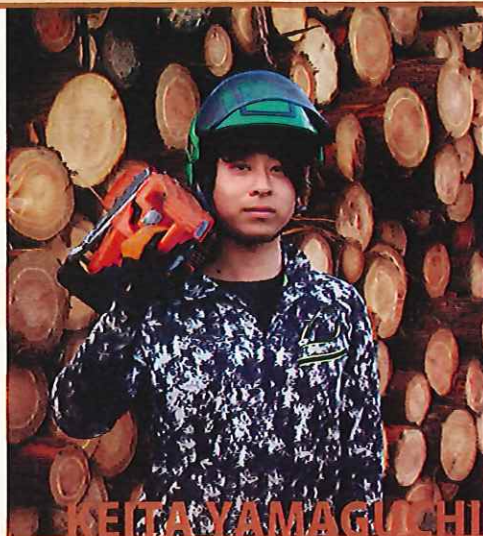
**TAKUTO KITAHARA**  
鹿本森林組合  
北原 琢斗さん(19)

## 指導者の立場として若手に教えていけるようになることを目指します

父が林業の仕事をしていましたので、父の影響で自分もやってみたくなり、この仕事を始めました。

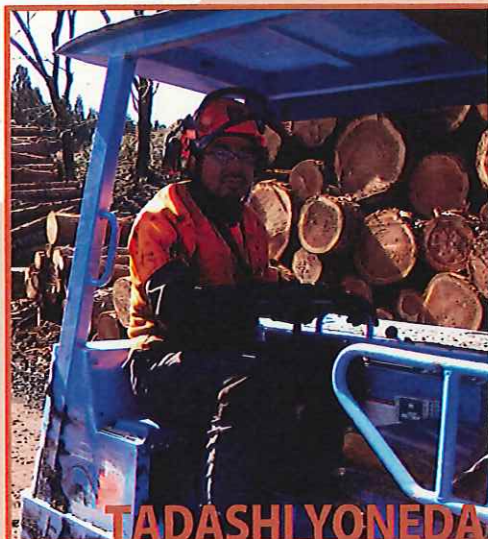
夏は暑いし冬は寒いので環境や仕事に慣れるのに大変ですが、伐倒の時に狙い通りに木を倒した時にとても爽快感や達成感が得られる仕事だと思います。危険な仕事もありヒヤッとした経験もありますが、技術を高めていき怪我をせず安全に仕事を進めていくには先輩方の教えを素直な気持ちで聞いて取り組むことが大事だと思います。

これからは経験や技術を高めていき、指導者の立場として若手に教えていけるようになることを目指して頑張っていきたいです。



鹿本森林組合

山口 敬大 さん(20)



阿蘇森林組合

米田 正志 さん(27)

## 予防、対策ができる樹木医の資格を取って自分の仕事の幅を広げていく

高校での進路選択時に先生から勧められていました。大学へ進学、自衛隊にも入隊しましたが一生の仕事にするのなら林業が良いと思い始めました。

人付き合いが苦手な私が、自分のペースで仕事を行うこともできますし、大自然の中での仕事は環境も良く、健康にも良いと思います。危険な仕事ではありますが、安全を第一に気をつけているので安全習慣が身に付き、日々の業務を進められています。

これからは実務経験を積み、技術を高めて、枯れかけの樹木を診察し、予防、対策ができる樹木医の資格を取って自分の仕事の幅を広げていくことを目指していきたいです。

## 先輩の様に仕事ができるようになることを目指して頑張ります

小国は林業が盛んな地域ですし地元に残ると決めていましたので、学校の先生からも親からも勧められ、この仕事を始めました。

仕事は難しいし、体もキツイ。暑いし寒いし大変ですけど、仕事できた時の達成感は「すごい!!」と感じます。危険の可能性もあり安全に作業をやっけていかなくてはならないので生半可な覚悟でやる仕事ではないですが、やってみないとわからないことも沢山あるので興味がある人にまずはやってみてほしいと思います。

まだまだ先輩の様に技術も高くないし、難しい作業をできる様に練習し学んでいますが、先輩の様に仕事ができるようになることを目指して頑張ります!



小国町森林組合

渡邊 旺太郎 さん(20)

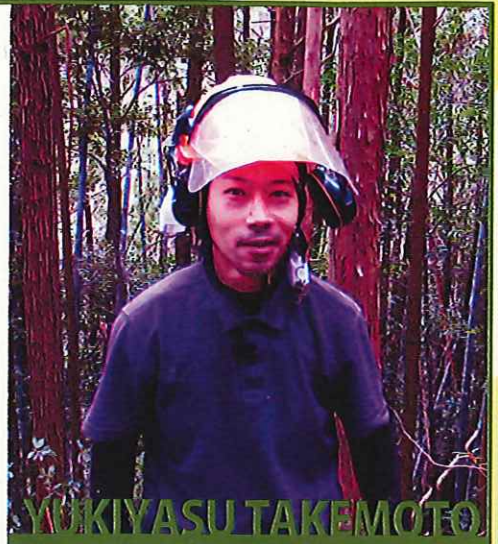


## 経験や技術を向上させて学んだことを活かしていきたいです

実家が農家で小さい頃から自然に携わることが多く、体を動かすことが得意でしたので林業という仕事には馴染みがありました。

体力には自信がありましたし、仕事も環境に慣れることも大変ですが、仕事をしているリアル感をすごく感じます。常に危機感を持ち、気を張って仕事をしているので、仕事をしている時と仕事ではないときのON・OFFの切り替えが明確なのでとても充実しています。体力も精神力も磨けるし、野生に興味がある人には適職ですね。

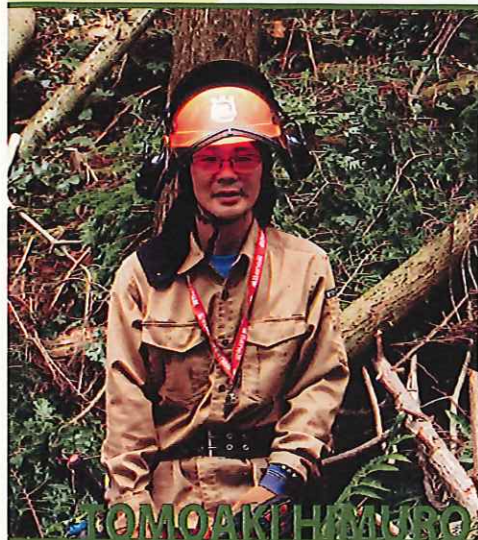
今後は経験や技術を向上させて、学んだことを活かしたいです。自分の山に、自分の山の木材を使ってログハウスを作ることが目標です。



YUKIYASU TAKEMOTO

天草地域森林組合

竹元 幸康 さん(35)



OMOAKI HIRAIWA

天草地域森林組合

檜室 智章 さん(44)

## 林業に興味がある人には 沢山の魅力を知ってほしいです

元々趣味で狩猟をしていて山に入るようになり、徐々に興味が湧いてきたところ、森林組合のポスターを見てこの仕事を始めました。

1つ1つ現場により環境が違いますので、予想と違うことが起きる危険性がありますが、技術を高めていくことによってカバーしていきたいですね。木は大事な資源だと思います。未来に資源を残すためには大事な仕事ですし、大きな達成感を得られます。林業に興味がある人には沢山の魅力を知って林業のイメージを変えてほしいです。

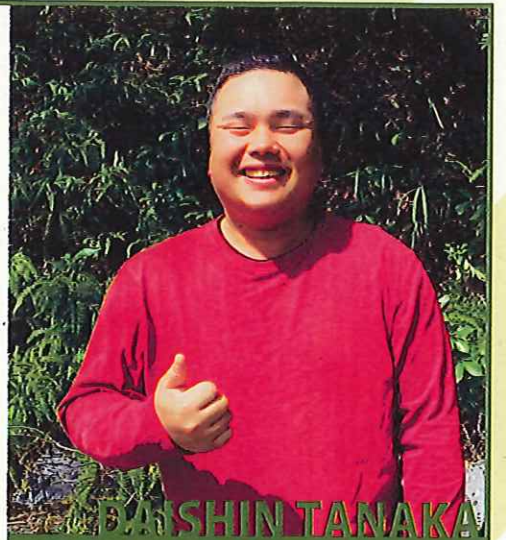
第一目標は先輩の様に技術を高めること。経験を積んで技術を盗んで、指導する立場で班長になれるように頑張りたいです。

## この一年で10種類近くの免許を 取得することができました

父が泉村の出身で、実家が山を持っておりゆくゆくは山の手入れもしないとならないのもありまして林業の世界に飛び込みました。林業に就く以前は介護職で身体を使う仕事ではあったのですが、身体の使い方そのものが全く違い入社からしばらくは全身筋肉痛になっていました。休日は横になって動けないことも多くありましたが、今では身体の使い方にも慣れてきて体力もかなりついたと思います。

林業の仕事は私が手掛けた仕事が見えて現れるのが魅力の一つではないでしょうか。風が吹き思った方向に倒れないと搬出作業も大変になりますし、技量が全て試されますので今でも社長に怒られることもしばしばです。この一年で10種類近くの免許を取得することもできました。色んなことを吸収して、会社にも貢献できる存在になりたいですね。

林業は体力勝負の現場です。先輩方からも無理をするなど言われます。頑張ろうと思って無理をすると怪我にもつながってしまいます。色んな業種から林業界に来られる方もいるとは思いますが安全を第一に先輩方の教えを素直に聞いていくのが仕事に慣れる一歩かもしれないです。



BANSHIN TANAKA

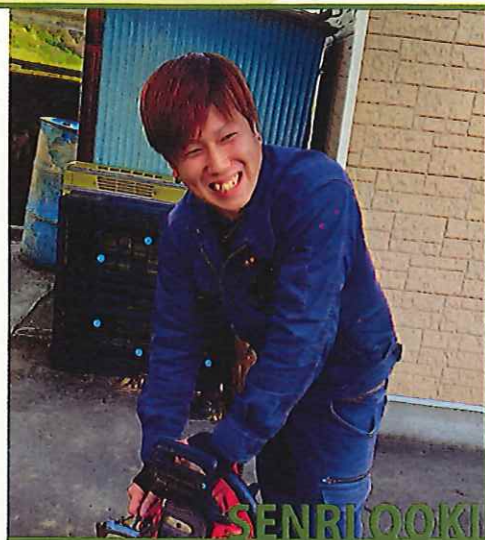
(株)岩崎林業

田中 提信 さん(30)

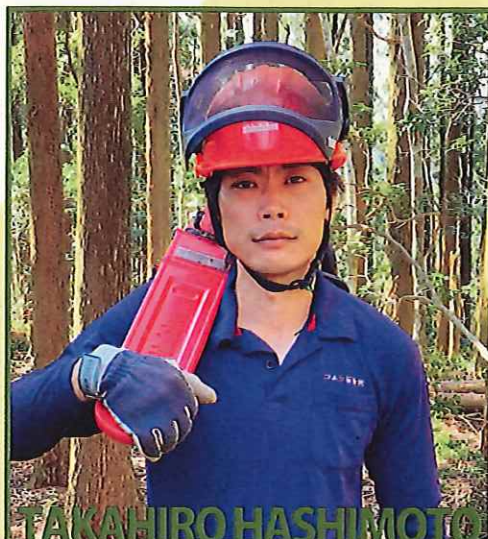
## 身体が慣れるまでに 半年ほどは掛かりました

同じ会社に勤める友人から、林業面白かばい!という誘いを受けました。会う度に誘われましたし、色んな免許が取れて何より自然の中で楽しく働けるということで入社しました。ただ、実際にはどんな環境なのか分からないまま入ったのですが、山登りなどしたこともなかったし、斜面の昇り降りなんて勿論したこともありません。身体が慣れるまでに半年ほどは掛かりましたね。

伐倒作業で、自分の思った方向に倒れると気持ちいいですし、大木を切り倒した時の爽快感は林業の仕事でしか味わえません。簡単そうに見える作業でも、なめてかかると自分がケガすることにもなってしまいます。足場が悪い中での作業も斜面を滑り落ちる経験もしてしまいました。そういった職場環境ですが、山の上で食べる昼飯はうまいです。社長からもらう味噌汁が何よりのご馳走です。この仕事でしか味わうことができない魅力と爽快感ですね。



(有)球磨松本林業  
大木 千里 さん(21)



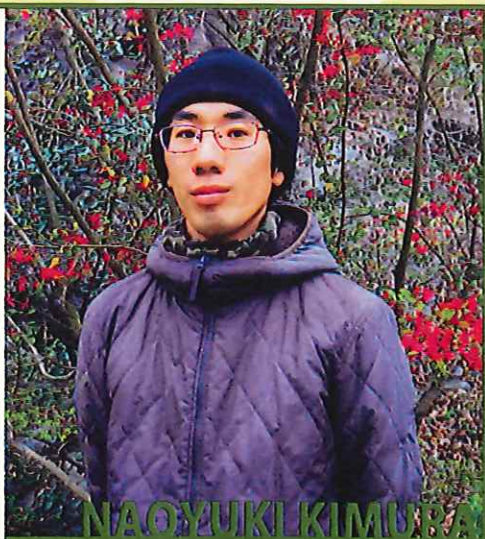
コムラ苗樹(株)  
橋本 隆広 さん(42)

## 自分でも気付かないうちにかなりの 基礎体力が付いています

知人を頼って埼玉からこの人吉地方に移住してきました。面白そうな仕事だと思い、完全にノリだけで林業界に入りましたが、慣れるまでは大変でしたね。標高千メートルぐらいのところで作業することが多く、自分でも気付かないうちにかなりの基礎体力が付いています。普通の坂道をダッシュで走っても息切れすることがありません。

実は昨年、一か月ほど休んでしまう大きな怪我をしてしまいました。仕事に復帰してからはこれまで以上に周辺の安全確認を徹底してやっています。退避場所を確保しようにも困難な現場もあります。賭けで伐ろうとしても自分の身に危険が返ってきてしまうので今まで以上に慎重に作業を進めています。思った方向に倒れないと、手直しのための作業効率も悪くなるので考えながらやるのも難しいですね。

新しい仕事をする時は、頑張ろうと誰しも思うはずですが、気持ちの焦りは怪我に直結することになります。周りも急いで仕事してくれとは思いません。焦りはケガの元。若ければ若いほど安全を第一にやって欲しいですね。



緑川森林組合  
木村 直幸 さん(42)

## 先輩方から技術と安全性を学んで 任される林業マンになりたい

家族が美里に山を保有しており、ほっておいても税金はかかるだけだし、年を取って管理するより若いうちに山をきちんと維持していこうと思って林業に就きました。

この一年は植え付け、夏の下刈り、間伐など学校で習った程度の知識では通用しない現場ならではのやり方があって慣れるのも大変でした。先輩方から技術と安全性を学んで任される林業マンになりたいと思っています。自然の中で木と対話をする仕事です。誰かに指示する、指示されるなんてこともないです。人付き合いのストレスも無い伸び伸びとした仕事が出ています。

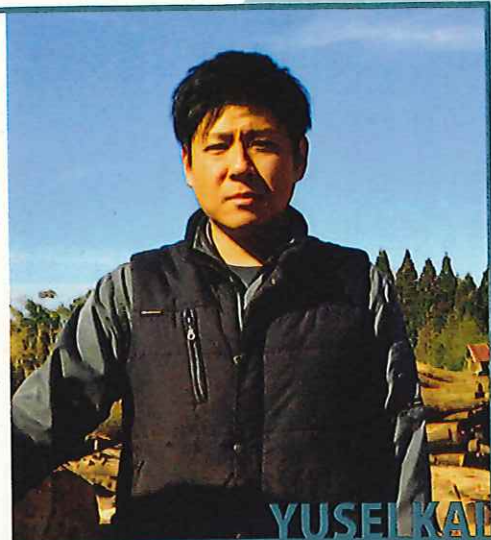
まだまだ技術も磨いていかないといけないですし、おぼつかないことで身の危険を感じることもあったりします。自然の中での自分の力を試してみたいと思う人、向上心・ハングリー精神のある人は大歓迎です!

## サラリーマンと林業家を 両方経験して分かったこと

熊本市内でサラリーマンをしていましたが、父と弟に声を掛けられ妻と一緒にこの世界に飛び込みました。家族で経営をしていて、ようやくこの世界で1年が経ちます。家業だったし、山の仕事がどんなものかは知っていましたが、いざ自分がするとなると夏は暑い冬は寒い毎日大変です。とはいえ、早く色んな経験を積まないといけないとつつい焦りがちですが、効率よりも安全を重視することを心掛けています。

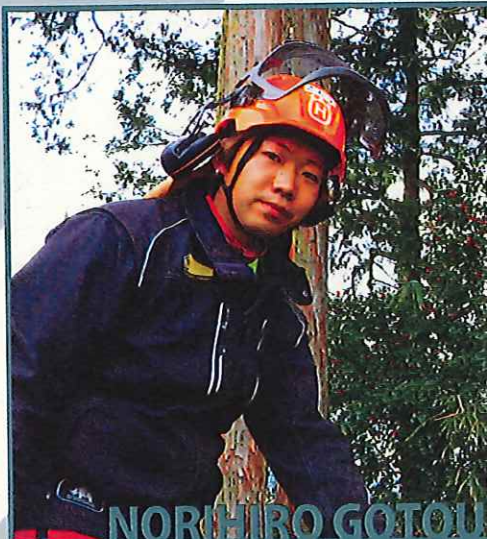
今でこそ笑い話でお話できますが、雨の中の搬出作業でトラックから積み荷の木材を滑らせ国道に散乱させてしまったことがあります。もうめっちゃくちゃ慌てましたね！直ぐに引き返して積み直しをし、なんとか収めることが出来ました。怪我は全くなかったのですが、気持ちの焦りが重大事故になりかねない経験をしてしまいました。より一層の安全作業を毎日やっているところです。

サラリーマンと林業家を両方経験して分かったことですが、ほかの業種と違って明らかに仕事に対するストレスはありません。趣味や自分の時間を作ることが今まで以上に出来ているのもこの世界の魅力かもしれません。



山都興産

甲斐 勇成 さん(32)



國武林業

後藤 了洋 さん(28)

## 先輩方が安全第一で指導してくれるから 危険を感じることもありません

製造業やサービス業を経験し、会社の社長から誘ってもらい入社しました。今年で3年目、緑の雇用研修生としては丸一年になります。

現場作業をするのに、基本的な安全装備、作業機械、自分の弁当や飲み水を持っていくと相当な重量を抱えて毎日山の中に入ります。もうこれが重いなの、捨てていきたくなくらい慣れるのに時間がかかりました。簡単そうに見えてもうまくいかず、楽ではなく、体力を使うきつい仕事もたくさんありますが、山頂から眺める自分たちが整備した山がきれいになった達成感は何とも言えません。

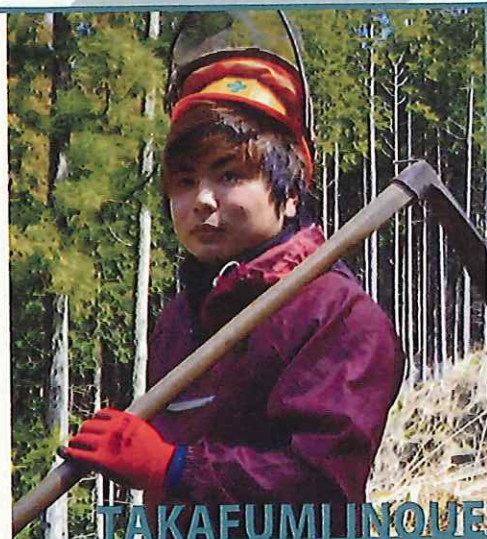
今は林業界で働く若い仲間がたくさん増えました。以前は見て覚えろ！盗め！といわれてきた業界です。先輩方が安全第一で指導してくれるから危険を感じることもほとんどありません。「すごいね！こんなことも出来るんだ！」と言われるように早く技術を付けていきたいです。林業は働きやすい環境だから、もっと仲間が増えるとうれしいですね。

## 自然が好きな人に もっと多く知ってもらいたい仕事

矢部高校緑科学科で林業について学び、同級生の小田君と一緒にこの道に進み二人で切磋琢磨しながら毎日仕事を頑張っています。お互いが常にライバルですが焦らず頑張っているところです。

実際に林業を仕事にすると、学校では体験していない急斜面での作業は体勢的にもやりにくく、まっすぐに狙った方向に木を倒すのがとても難しいし、思わぬ方向に倒れて危ない！と感じたこともあります。社長や先輩から教えてもらいながら技術を習得していきたいです。

この仕事は毎日きついし、危険なことも多いです。けど、山の斜面の下草刈りをした後は景色も全く違うものになるし「俺がした仕事！」が目に見える気持ちよさがある仕事だと思います。自然が好きなお人にもっと多く知ってもらいたいです。



矢部愛林(有)

井上 貴文 さん(19)

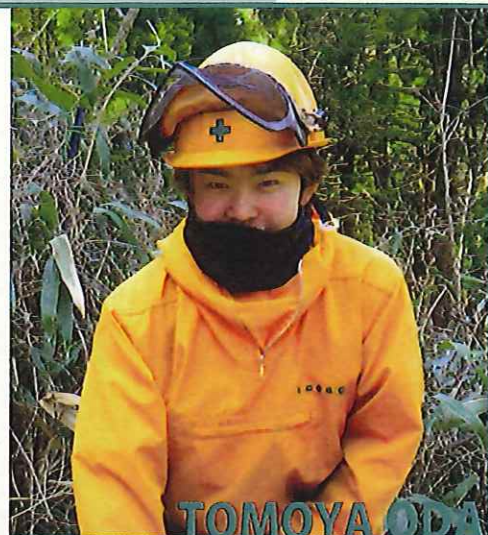


## 試行錯誤しながら経験値を得ることで 対応できる幅が広がる

矢部高校緑科学科を卒業し、同級生の井上君と毎日頑張っています。やっぱり同級生だし、ライバルだし、同じ現場に出ることが多いのでめちゃくちゃ意識しますね。

井上君も言ったように、学校では経験してないことばかりなので危ない!と感じたこともたくさんあります。特に、雨が降った後は滑りやすくなるし僕も技術、スキルを上げていきたいです。試行錯誤しながら経験値を得ることで、対応できる幅が広がる、これが林業の魅力だと思います。

僕もこの仕事はきついし、危ないことも多いです。井上君と同じで間伐作業が終わった山は景色が良くてやりがいを感じています。



矢部愛林(有)

小田 智哉 さん(19)



(同)Wood One

川崎 孝雄 さん(38)

## 今後の目標は一人前になって班長になり 現場を廻していきたい

弊社社長とは 20 年来のお付き合いで地元の先輩後輩の関係でした。社長の様に尊敬できる方の下で仕事がしたい、尊敬できる方の背中を追いかけたい、そんな思いでこの仕事を始めました。

仕事では伐倒の方向など思い通りにいかない難しさ、待避方向や距離を誤ると大きな怪我に繋がりますので、安全を第一に取り組んでいます。危険で過酷な仕事と思われがちですが、安全確認をしっかり意識していれば心配はいらなと思います。自分の仕事によって木材が生産される嬉しさ、仕事の遣り甲斐はとても感じています。

今後の目標は一人前になって班長になり現場を廻していきたいですね。社長にも恩返しができればと思います。

## これから仕事の幅を広げていくために 免許や資格も取得していきたい

前職は鮮魚店で務めていましたが、先輩から林業の話聞き、興味を持ちこの世界に飛び込みました。

実家では山を所有していて小さい頃から自然と触れ合う機会が多く、山には馴染みもありました。最初は仕事に慣れるまでは体力的にも辛いこともありましたが、今では体力もついてきて、現場環境に慣れるのも早くなってきたと思います。

仕事が上手くいった時の爽快感や仕事を終えた時の達成感、またそこから見える景色は広大で気持ちがとても晴れますね。本当にこの仕事は自分に向いていると思います。これから仕事の幅を広げていくために免許や資格も取得していきたいです。



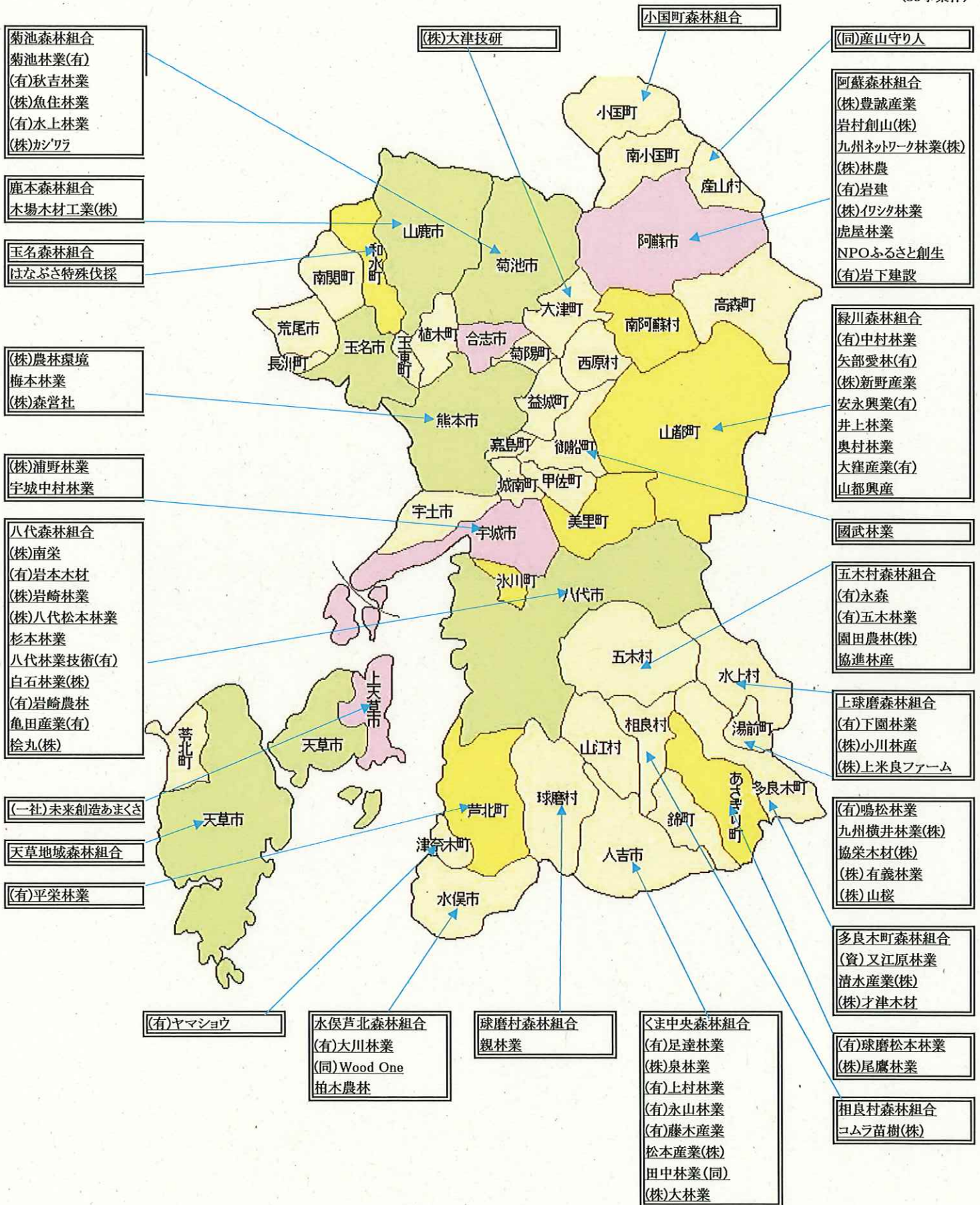
SHOGO HARANO

(有)大川林業

原野 省吾 さん(33)

# 熊本県認定事業体 事業所位置図

令和2年8月30日現在  
(89事業体)





伐倒(Batto)は山の管理の中で重要な作業です。  
伐倒後の更新から保育まで、どのように次世代の森林をつくり、守るのか…。  
森林づくりの第一歩となる作業、それが伐倒(Batto)です。

## Batto(バットウ)山が、われらのフィールド

発行／2020年3月(第6号)

発行元／熊本県農林水産部森林局林業振興課

委託／(公財)熊本県林業従事者育成基金

制作／Produce：(有)クレッシェンド  
熊本市中央区幸島町6-2ベアレントビル501  
Chief-Producer 木下 慎太郎

Production：(同)ピースリボン  
熊本市中央区新大江2丁目8-18  
北田 尚

Reporter：too-design(株)  
熊本市南区近見1-3-32 森香ビル3F  
柿原 恭子

Reporter：(有)クレッシェンド  
熊本市中央区幸島町6-2ベアレントビル501  
木下 慎太郎 緒方 大作

Photo：木下 慎太郎 緒方 大作 柿原 恭子

Editor：北田 尚